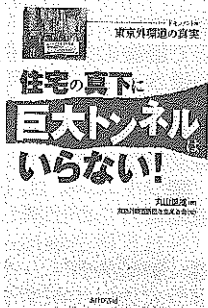


住宅の真下に巨大トンネルはいらない!

丸山重威著、東京外環道訴訟を支える会編

住宅街の「大深度地下」での東京外環道建設の問題点を、住民運動に加わるジャーナリストが追及しました。住宅の地下40メートル以深に、直径16メートルのトンネルを掘削。



地下水は遮断され、地上には危険な酸欠の気体と水があふれてきま

す。土地には建築制限がかかり、陥没事故の危険も。

筆者は美濃部革新都政時代には反対運動で計画が凍結されたことを指摘。ゼネコンの利益最優先で進む事業が、住民の権利をないがしろにし、憲法も民主主義も踏みにじっていると告発します。

(あげび書房 1600円)